

H27 山口大学医学部医学科 カリキュラム・ポリシー (CP)

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

【学士課程】

大学全体と医学部・医学科の理念・目的を念頭に置き、医学科は以下を教育目標としています。

- 1) 豊かな人間性と高い倫理観を持った医師、研究者の育成
- 2) 科学的探究心の育成
- 3) 問題提起能力及び自己開発能力の育成
- 4) 実践的臨床能力及び先進的医療への対応能力の育成
- 5) 国際的視野と医学・医療分野での実践的英語能力の育成
- 6) 地域社会の医学・医療に対する多様な要望に対応できる能力の育成

これらを達成するため、以下の様に教育課程を編成します。

1. 医学・医療の変化、医師の社会的役割の変化、地域社会の医学・医療に対する多様な要望に対応できる能力のある創造的な人材の育成をはかるため、医学教育モデル・コア・カリキュラムに提示されている教育内容を包含した**統合型カリキュラム**による**段階的・一貫教育**を行います。
2. 入学後早期から、実地医療の**体験**を様々な段階で取り入れた実習を行い、医師としての豊かな人間性を涵養し、**医療プロフェッショナル**としての使命感・責任感と高い倫理性の形成を目指します。
3. 医学・医療の専門知識と技術を学ぶ講義・実習に加え、入学時より少人数での**自己主導型学習**や**統合型テュートリアル学習**により、課題の発見・提起、情報の収集、知識の応用と科学的・論理的思考による問題解決を学び、**医療基盤力**と**総合的診療能力**を養います。
4. **自己開発コース**や**課題解決型学習**・**地域医療体験実習**などでの体験・研究・発表を通じて、地域社会の医学・医療に対する多様な要望や国際的視野から先進的医療の状況を知り、それらに対応できる**科学的探究心**と**自己開発能力**、**地域・国際対応力**を養います。
5. TOEIC の活用や、少人数グループ学習や統合型演習による医学・医療領域の専門英語学習、留学機会の提供などにより、国際的視野と実践的英語能力を養い、医学・医療の国際化に対応できる**コミュニケーション能力**の向上と**国際対応力**の育成を図ります。
6. 情報処理演習や電子シラバスの利用、充実した情報管理システムや図書館・病院情報システムなどの活用を通じて、情報化社会で活躍できる **ICT (Information & Communication technology) 活用能力**を修得します。
7. 患者とのふれあい、医療面接などの講義演習、附属病院や地域の様々な医療現場での体験、医療者の一員として行動する診療参加型臨床実習、シミュレーションを用いた臨床技能の実習を通して、患者や家族と良好な人間形成を築くための**コミュニケーション能力**を向上させ、患者中心のチーム医療を安全に行える**総合的診療能力**の修得を目指します。
8. 各段階で学習成果を評価する**アウトカム基盤型学習**を支援し、実技試験を含む総合的評価を行います。